



自然と人との絆のために



10
月号

2013 Vol. 57

JA
広報

そらちみなみ



9月6日 川端敦さん（東三川）

主な内容

- 青年部食農教育
- 米出荷開始
- 営農いろは塾
- 青空教室
- 花育学習
- インターンシップ
- 生産者部会紹介
- 各地区の作業風景...etc

～稲刈り開始～

JAそらち南管内では、昨年より1日早い
9月6日より稲刈りが開始されました。

全体を通しては、9月中旬から下旬に収穫
最盛期を迎え、豊作が期待されます。



青年部食農教育

秋の収穫作業



栗山支部：黙々と稲刈り進める子供たち



栗山支部：青年部員と一緒に餅つき体験

春から実施している青年部の食農教育ですが、実りの秋を迎え、各支部で収穫作業が行われました。

栗山支部では、町内・札幌市の親子を対象とした「第26回稲刈り体験ツアーinくりにやま」が9月14日に開催されました。

今年は、春先の低温と日照不足により苗の成長が遅れ、田植え体験ツアーが急遽中止となり、稲刈り体験ツアーへの参加者減少が懸念されましたが、約50名の親子に参加して頂き、無事に実施することが出来ました。

事業部長の渡会伸成さん（大井分）の水田に作付されている「ゆめぴりか」の稲刈り体験をし、その後、コンバインでの収穫実演を行いました。

稲刈り終了後は、場所を角田改善センターへ移し、農協女性部の皆様に作っていただいた栗山町産の米と野菜を使った特製カレーライスで昼食をとり、毎年恒例となっている餅つき体験や初めての試みとなるビンゴ大会などを行いました。



由仁支部：ミニダンプによる脱穀体験



由仁支部：手順を説明する松井博靖さん

由仁支部では、9月20日に青年部員の松井博靖さん（山桝）圃場で、由仁小学校5年生の約30名を対象に「ゆめぴりか」の稲刈り体験学習を行いました。

肌寒い曇り空での稲刈り作業となりましたが、春先に自分たちで植えた稲を児童達は一生懸命に刈り取っていました。

稲刈り終了後は、ミニダンプによる脱穀体験や実際にコンバインを稼働した刈り取り作業を見学してもらい、「あつという間！」「乗ってみたい！」などの声があがっていました。収穫した米を使用して、11月にはカレーライスの調理実習も行う予定です。

また、三川支部では、三川小学校の全校生徒を対象に、学年毎で畑作物の栽培を実施しており、随時収穫作業が行われています。

今後は、各学年で栽培した食材を使用し、カレーライスやポップコーンなどの調理実習を行う予定です。



9月10日 栗山地区施設初出荷
谷内さん 大塚さん

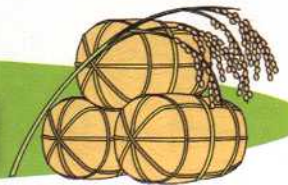


9月10日 由仁地区施設初出荷
株式会社twoフィールズさん 熊林さん 川端さん



9月10日、栗山・由仁両地区で施設への受入が開始され、初出荷を記念しJAより出荷者へ記念品が贈呈されました。
初出荷された方々は、栗山地区では大塚史明さん、谷内智隆さん、住友謙一さん、(有)粒里さんとなっており、由仁地区では、(株)twoフィールズさん、熊林重春さん、川端敦さんとなっております。

平成25年産米出荷開始



実りの秋を迎える

また、個袋の初検査は由仁地区が9月13日、栗山地区が9月17日に、検査員による厳正な検査が行われ、見事全量1等米となりました。
個袋初出荷となった方々は、由仁地区では熊林重春さん、栗山地区では、高橋浩一さん、高尾孝幸さん、國岡正好さんとなっております。



9月17日 栗山地区個袋初検査
高橋さん 國岡さん



9月13日 由仁地区個袋初検査
熊林さん

作物の基礎を学ぶ

営農いろは塾



分かりやすく講義を進める
佐藤英夫 営農技術員

8月28日に第4回営農いろは塾が、8月30日に第5回営農いろは塾がそれぞれJA本所にて開催されました。

第4回は、「馬鈴しょ・豆類の栽培のいろは」と題して、生産資材部の佐藤英夫営農技術員より、各作物の基本的な栽培方法についての講義が行われました。

第5回は、「馬鈴しょ・豆類の病害虫防除のいろは」について営農部の尾崎技術アドバイザーより講義があり、各作物の病害虫の紹介や発生要因、対策方法などについて説明が行われました。

参加者はメモを取るなどし、熱心に聞く様子が伺えました。

ゆめちから栽培に向けて

青空教室

9月3日、栗山・由仁両地区で、秋まき小麦「ゆめちから」についての青空教室が開催されました。

平成26年産から、秋まき小麦が「ゆめちから」へと全面切り替えとなることから、播種時期やコンタミ防止のための野良生え処理などについて、普及センターよりそれぞれ説明がありました。

「ゆめちから」は、超強力小麦の位置付けで、製粉業者からの引き合いが強く、期待される品種となっております。

参加者たちは、真剣な表情で説明を聞き、新品種生産に意欲を見せておりました。



説明に耳を傾ける参加者の皆さん

優しい心を育てる

花育学習



アドバイスを受けながら
完成させていく児童ら

9月17日、そらち南農協花き生産組合が由仁小学校で、3年生から6年生の104名を対象にして、フラワーアレンジメント教室を開催しました。

これは、花き生産組合が花育学習の一環として取り組んでいるもので、地域で栽培されている花を身近に感じてもらうと共に、「花は美しいと思う心」を育てるために、毎年、栗山・由仁両町内の小学校で交互に開催しております。

児童たちは、花き生産者や札幌生花商の方々から作り方を教わりながら、トルコギキョウやバラなどを組み合わせ、色鮮やかなフラワーアレンジメントを完成させておりました。

この日だけは 社会人

インターンシップ

栗山高校生



玉葱の収量調査を行う学生

9月12日～13日、栗山高校の2年生1名がインターンシップ（就業体験学習）で当JAを訪れ、生産資材部で配達業務に同行するなど実際に職員が行っている業務を体験して行かれました。

学生は、少々緊張した様子でしたが、意欲的に取り組む姿に感心させられる場面もありました。

今回の体験学習で感じたことや学んだことを、今後の進路選択や社会に出た時に役立てて、立派に成長してくれることを願います。

由仁中校生



陳列作業をこなす生徒

9月24日～26日、由仁中学校の生徒3名が職場体験学習でメリーワークを訪れ、生活店舗で実際の業務を体験して行かれました。

由仁中学校では、作業を通し職業に対する知識、関心を高め職場でのマナーを学ぶことによって将来の進路選択に役立たせることを目的としてインターンシップを実施しております。

3名は、戸惑い緊張しながらもそれぞれの作業を懸命にこなしております。

北大生



慣れない米積みが悪戦苦闘

9月25日～27日、及び9月30日～10月2日に北海道大学農学部（学生33名が2班に分かれ、それぞれ3日間のインターンシップ研修で当JAを訪れました。

初日には、JAの事業概況の説明や施設見学を行い、2日目・3日目には、施設や各部署で実際のJA業務にあたり、農産物を扱う生の現場を体験して行かれました。

学生たちは、慣れない手つきで懸命に作業をこなしながら、JA事業を理解しようと努めている様子が見られました。

今後農業に携わる事となった際には、この経験を役立ててくれればと思います。

営農指導課のページ

「新システムでの苺出荷が
終了しました」

苺苗部会の苗づくりは、千葉県より提供される親株を水田跡の畑で増殖し、子苗を送り返すというリレー方式でスタートしています。

この間、千葉県側の官民あげての適切な指導により、苺苗部会の苗づくり技術は急ピッチで上達し、収益的にも高い位置を保っているようです。



新システムはこれまでのリレー方式ではなく、増殖用の親株の養

成から採苗まで全ての工程を自分達が行う方式で、換言すると、苺苗の全てに自分達が責任を取る方式に変更しました。

9月13日は、新システムによる記念すべき初出荷の日で、出荷先の数量・品質などに対する評価がこれまで以上に気になるところです。

また、道総研中央農試病虫部は、親株養成・増殖さらに実需の園地に至る段階までの病害虫の発生を調査し、健苗生産に向けた新システムの有効性を評価してくれています。

この結果にも、大きな期待を寄せているようです。

さらに、道内での販路開拓の二環として、10月21日に札幌市（かでる2・7）で開催の「いちごセミナー」で、苺苗部会の取り組みを紹介する時間をもらいました。

「日本ハム(株) 大社専務が
来訪されました」

去る8月28日午後、日本ハム中央研究所の長谷川研究員の案内で当JAに来られました。大社専務は、「北海道日本ハムファイターズのオーナー代行」を兼務されております。

今回の来訪の目的は、子実コーン導入に至った経緯と現在の到達

点や将来展望を知ることと、その産物である子実を活用した循環型養豚を展開する可能性に関する意見交換でした。

子実コーンの畑を見たいとの希望があり、栗山町旭台の高野さんの畑にも行き、全体で約3時間の滞在でしたが充実した時間をいただきました。

勿論、ファイターズも話題になり、大谷選手の二刀流や栗山監督に関する話も少し聞かせていただきました。

地域の皆さんに元気になっていただき、一人でも多くの方が札幌ドームに足を運んでくれるようにするのが私の仕事です、この言葉が印象的でした。

「小型カッティングソイラの
開発が進んでいます」

作物の残渣や堆肥などの有機物を心土に埋め込み、補助暗渠・下層土改良・炭素貯留などの効果が期待されるカッティングソイラを、80馬力以上のトラクタで施工可能にする開発が進んでいます。

これは、農村工学研究所、(株)北海コーキ、道農業公社の共同研究によるものですが、去る9月10



日、栗山町旭台の高野氏圃場で行った施工試験が公開されました。

試験は、秋まき小麦の収穫後の麦わらを持ち出していない状態で行い、地表から45〜50cmの深さまで麦わらが落とし込まれていました。この施工が畑土壌の物理性に及ぼす効果に関しては、農村工学研究所が調査を継続することになっています。

土壌の総合分析

今年も例年同様、土壌の総合分析を受け付ける時期が来ました。

具体的には、別途お知らせしますが、土壌中に残っている養分を知り、来年の施肥設計を考えるための情報として活用しましょう。

生産者部会紹介

そらち南農協RH防除組合



組合長 長尾 卓也 さん

南学田地区



散布時の様子

そらち南農協RH防除組合は会員30名で、栗山地区を中心にラジコンヘリを使った防除作業を実施しております。

ラジコンヘリのメリットは、作業時間が短時間で済み適期防除が可能である事、プロペラの風で薬剤が株元や葉裏まで農薬がしっかりと付着し優れた防除効果を発揮される事。また、ドリフトが少なく、操作員が農薬をかぶらずに作業が可能で、小区画の圃場や中山

間地でも容易に作業ができるなど多くのメリットがあげられます。

ラジコンヘリでは、水稻の病害虫防除の他、小麦・大豆・小豆、農薬登録があれば野菜類も防除可能です。

現在組合では、水稻の基本防除と秋小麦の雪腐防除について取りまとめ、生産者より申し込みがあった圃場について、5つの作業チームで対応しております。

作業チームそれぞれが1台ずつラジコンヘリを所有しており、要望に応じた適確な散布作業が出来る体制を目指しており、機体は日常や散布前の点検・整備を徹底し、事故の無い安全な作業に努めています。

昨年は延べ2,588haの防除作業を実施しており、面積は年々増加傾向に

あります。

部会では、各作業チームへの連絡・調整、精算作業の他、オペレーター技術向上のため外部研修会の参加費補助などを実施しております。

今後は、新たなオペレーターの育成・確保も課題となっており、希望者を探しておりますので、興味のある方は事務局までご一報下さい。

事務局 農業振興課 高橋



専用のラジコンヘリ

結婚おめでとう

新婚さんご紹介

澤田 真也さん (23)

さとみさん (25)

(旧姓 井内)

栗山町阿野呂

ご成婚日 平成25年6月6日

Q 出会いのきっかけ？

A 共通の知り合いを通じて

Q どんな家庭にしたい？

A 明るい家庭

Q 農業に対する抱負

A 頑張っていきたいと思います



笑顔が素敵なお二人

我が家の味

空知南東部地区農村女性ネットワーク
「このゆびとまれ」作成の“我が家の味
ありあわせ よせあつめ”より抜粋

ヘルシーかぼちゃ おからコロッケ

由仁町 新屋 礼子 さん



<作り方>

①かぼちゃは蒸してから薄皮をとる。

②鶏肉は小さく刻む。

(挽肉でも良いが、刻んだ方が歯ごたえがある)

③鶏肉をかるく炒め、かぼちゃと調味料を合わせる。

(かぼちゃの甘さにより、砂糖加減する)

④好みの形にし、小麦粉、卵、パン粉でころもを付けて揚げる。

冷めても美味しいコロッケになりますよ。

材料 (20個分)

・かぼちゃ	1Kg
・おから	300g
・鶏肉(もも肉又は挽肉)	200g
・塩	大さじ1
・砂糖	少々
・卵、小麦粉、パン粉	適量
・揚げ油	適量
・パセリ	少々

各地の作業風景など



角 粒 里さん (大井分)
9月10日 稲刈り



太田智朗さん 圃場 (古山)
9月12日 種芋収穫



野島芳光さん (下古山)
9月27日 稲刈り



中川和政さん (北学田)
9月28日 稲刈り



高橋浩一さん (御園)
9月28日 稲刈り



宮西 勉さん (古山)
9月28日 稲刈り

我が家の愛取(アイドル)



堀 田 ^{はるき} 治 希 くん (男の子)

平成25年7月16日生まれ

鳩山 お父さん：堀 田 淳 一さん
お母さん： 奈々恵さん

Q 1番可愛く感じる時は？

A 何をしていてもカワイイ

Q どんな子に育って欲しい？

A 健康で優しい子に育って欲しい!!



JAからのお知らせ

営業時間のお知らせ

11月より営業時間が下記の通りとなりますので、ご理解ご協力の程お願い申し上げます。

	平日	土・日・祝日	備考
事務所（本所・由仁支所）	8:30～17:00	休み	
金融店舗（窓口）	9:00～15:00	休み	
ATM	9:00～18:00	9:00～13:00（土曜のみ）	
生産資材部	8:30～16:00		
由仁営農センター	8:30～16:00		
給油所	7:30～20:00		
洗車場	8:00～19:00		
A コープ由仁店	9:30～19:00		毎月第2日曜日定休日
// 三川店	9:00～19:00		毎週日曜日定休日
// 継立店	8:30～16:00	休み	

※金融店舗窓口は11月より通年9：00～15：00の営業時間となりました。

尚、15：00以降来店される場合は、下記窓口直通電話（携帯）までご連絡されるか、店舗入口（本・支所）インターホンにて申し出てください。

本所金融部 080-5723-4001

由仁支所 080-5723-4017

継立出張所 080-5723-4022

三川出張所 080-5723-4018

免税軽油に関してのお知らせ

- 平成25年度「免税軽油作業日報」の提出について

4月～11月の作業終了次第提出をお願い申し上げます。

なお、作業日報については、提出が義務付けられており、提出がない場合「課税」され、次年度の申請が出来ない場合がありますので必ず提出下さいますようお願い申し上げます。

提出期限 平成25年12月2日（月）まで 厳守

- 平成26年度免税軽油申請に係る「作付け面積計画書」の提出について

平成26年度の免税軽油申請書類作成にあたり、平成26年度の作付面積が必要となることから各農事組合長宛てに免税軽油使用者への「作付け面積計画」について聞き取りを依頼致しております。

つきましては**12月13日（金）**までの提出期限となりますのでよろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ・提出先 栗山給油所72-0680 由仁給油所83-3700

農業用廃プラスチックの集積について

リサイクルでクリーンな農業環境を守る

安全・安心な農畜産物を、消費者に提供していく上で、廃棄物の適正処理や有効活用は、基本的な取組の一つです。特に農業用廃プラスチックは、法律で保管・運搬・処分などの方法が規制されており、資源としてリサイクルすることが大切です。

つきましては、JAとして、次により農業用廃プラスチックの集積を行うことといたしましたので、ご利用願います。

◆実施日：午前：由仁地区 午後：栗山地区 平成25年11月中旬予定
(施設運営の都合がありますので、実施日については決定次第FAX致します。)

◆集積場所：由仁営農センター計量所にて計量後、指定場所へ集積

◆集積受入時間：午前9時00分～午後3時30分まで(時間厳守とさせていただきます。)

◆集積品目：

農ビ類 〈塩化ビニール類〉	農ポリ類 〈PO系フィルム〉	そ の 他	〈受け入れ出来ないもの〉
・ハウスビニール ・ロールパック ・スタックビニール ※農ビと印字されているもの	・ラップフィルム・フレコンバック ・肥料用ポリ袋・ハウスPO系フィルム ・マルチフィルム・育苗箱 ・ポリポット・POロープ等 ・不織布・農薬ボトル等 ・PPTワイン・農薬ポリ袋 ※ノーポリまたは「農PO」[PO] [PE]と印字されているもの	・塩ビ管 ・塩ビ系波トタン ・ポリ系容器タンク ・ビニールホース ・灌水チューブ ・各種ネット類 (金具付き不可)	・硬質系塩ビ類 ・FRP系容器タンク ・家庭から出る廃プラ ・生分解性マルチ ・スタイロフォーム ・発砲スチロール ・長靴 ・カップ類・ゴム製品

◆処理単価：18円/kg程度(運賃込み)

※運賃を含んでいるため、処理単価の前後が予想されますが、その旨御了承下さい。

※11月末に7月分と11月分を合算して引き落とす予定です。

◆注意事項

- ・農ビ類・農ポリ類は必ず分けて折り畳み、紐で縛って下さい。大きさ、重さは一人で持てる程度にして下さい。
- ・肥料袋は肥料袋のみで結束して下さい。
- ・育苗箱は持ちやすい大きさで結束して下さい。
- ・農薬空ボトルはキャップを外し、中の農薬を水洗い後、完全に空にして下さい。以上の処理がされていない農薬ボトルは受入できません。
- ・金属や石、砂などの混入物は取り除き、乾燥させて土を落として下さい。土や水分を多く含んでいると重量が増え処理費用も割高になります。

廃プラの適正な分別・処理に努めましょう

〈問い合わせ先〉 JAそらち南 営農部農業振興課 (TEL 0123-72-1408)
由仁営農センター 営農係 (TEL 0123-87-3312)

第9回理事会報告

日時 平成25年9月30日(月)午後
4時00分より第9回理事会が開催
され、原案通り承認されました。

【報告事項】

総務委員会報告
農業委員会報告
農政対策
各部報告

【審議事項】

議案第1号
自動車通勤管理規程の制定について
議案第2号
災害対策規程の制定について
議案第3号
給与規程の改正について
議案第4号
出資金の承認について
議案第5号
土地貸借契約の締結について
議案第6号
固定資産(建物)の処分について
議案第7号
役員視察研修の実施について

行事予定

10月
14日
青年部南部ブロックスポーツ大会
21日
第10回理事会(予定)
27日～11月2日
青年部海外視察研修
11月
10日～13日
青年部道外視察研修



組合員の動き

	▽正組合員戸数	▽組合員数	正組合員数	うち法人	准組合員数	うち団体
	883戸	3,257名	1,502名	1,755名	52名	(8月31日現在)
★おくやみ申し上げます。						
亡くなった方	年齢	住所				
白土 貞子	78歳	栗山町雨煙別				
成瀬 キク	92歳	由仁町古山				
井内 政雄	87歳	栗山町北学田				
竹田 信子	94歳	栗山町雨煙別				

職員の動き

退職
「9/30」
村上 奨(正職員)
由仁支所金融共済課
経営相談係長
異動
「10/1」
角屋 卓実(正職員)
由仁支所金融共済課
経営相談係(金融部
共済課共済係)
中野 隆宏(正職員)
金融部共済課共済係
(営農部農業振興課
農業振興係)

編集後記

2020年東京オリンピック開催が決定しました。あめでとうらやいます。
東京に決まったらいいなとひとりで思っていたので嬉しいです。まだまだ先は長いですが早くもわくわくしてあります。他国開催のオリンピックはよくテレビで見たりしていますが、実際に日本で行つたことなど、どのようなのか想像つかないのでとても楽しみです。レスリングも競技の種目に残り、盛り上がりがあります。この盛り上がり開催まで続くといいなと思います。

企画編集課 M



そらち南 くみあいだより

2013 10月号 Vol. 57

■発行 2013. 10. 10(毎月1回)

〒069-1511 夕張郡栗山町中央3丁目104番地
発行/そらち南農業協同組合 管理部企画審査課
TEL/0123-72-1313 FAX/0123-72-3364
HPアドレス <http://www.ja-sorachiminami.or.jp>
メールアドレス info@ja-sorachiminami.or.jp
印刷/山東印刷